



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月11日
東

上場会社名 メック株式会社

上場取引所

コード番号 4971

URL <https://www.mec-co.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室
室長

(氏名) 松下 綾 (TEL) 06-6401-8160

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	14,987	9.5	4,247	16.4	4,361	17.9	3,329	26.7
2024年12月期第3四半期	13,682	37.1	3,649	118.3	3,700	97.0	2,627	53.9

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 3,595百万円(45.5%) 2024年12月期第3四半期 2,470百万円(△6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	179.53	—
2024年12月期第3四半期	140.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	34,292	28,312	82.6
2024年12月期	33,039	26,897	81.4

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 28,312百万円 2024年12月期 26,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2025年12月期	—	25.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	60.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	11.3	5,500	20.5	5,650	20.7	4,300	87.6	232.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期 3 Q	19,571,093株	2024年12月期	20,071,093株
2025年12月期 3 Q	1,310,362株	2024年12月期	1,346,241株
2025年12月期 3 Q	18,543,269株	2024年12月期 3 Q	18,724,852株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

・当社は、2025年11月11日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年9月30日）は、わが国においては、雇用・所得環境の改善の動きが続く中、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の通商政策における不確実性や中東地域をめぐる地政学リスク等、先行きは不透明な状況にあります。

エレクトロニクス業界は、データセンターにおいては生成AI関連がけん引し堅調さが持続し、汎用サーバーは緩やかな回復基調で推移しました。パソコンやスマートフォン、自動運転への技術転換が進む車載関連は概ね堅調に推移しました。また、中長期視点では、通信革命によるデジタル技術進展のメガトレンドは不変であり、それらに向けた投資は継続されると見込まれております。

当社グループの関係市場である電子基板・部品業界は、全般的にエレクトロニクス業界の影響を受け概ね堅調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、2030年ビジョンの実現に向けた第二期である「Phase 2 中期経営計画（2025年度～2027年度）」を達成するため、「創造と変革」を指針に事業活動に取り組みました。特に、デジタル化やグリーン化に向け社会が変化・変革期にある中、高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力いたしました。

その結果、当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	増減率
売上高	13,682百万円	14,987百万円	9.5%
販売費及び一般管理費	4,747百万円	5,101百万円	7.5%
営業利益	3,649百万円	4,247百万円	16.4%
営業利益率	26.7%	28.3%	1.6ポイント増
経常利益	3,700百万円	4,361百万円	17.9%
税金等調整前四半期純利益	3,695百万円	4,761百万円	28.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,627百万円	3,329百万円	26.7%

また、売上高の内訳は、次のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	増減率
薬品	13,041百万円	14,559百万円	11.6%
機械	530百万円	87百万円	△83.6%
資材	104百万円	323百万円	208.9%
その他	5百万円	18百万円	219.3%

海外売上高比率は65.0%となり、前年同期の61.2%に比べ3.8ポイント増加しました。なお、日本国内代理店経由で販売した海外顧客への売上を海外売上高比率に含めた場合は、80.7%となり前年同期の76.9%に比べ3.8ポイント増加しました。

売上高については、薬品は主に生成AI関連など先端半導体パッケージ基板、パソコンやスマートフォンなどの汎用半導体パッケージ基板向けに製品の需要が堅調に推移したことにより増加しました。販売費及び一般管理費は、主に人件費や発送運賃等が増加しました。利益面では薬品出荷量が増加したことや収益性の高い製品の需要が堅調であったことから営業利益は増加しました。経常利益は為替の影響等を受け増加し、また、特別利益に経済産業省による「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」の収入が計上されたこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期に比べ増加しました。

前年同期と比較した主要製品の売上動向としましては、半導体を搭載する半導体パッケージ基板向けに高いシェアを持つ超粗化系密着向上剤「CZシリーズ」は、主に生成AI関連やパソコン、スマートフォン等に係る需要により好調な結果となりました。多層基板向け密着向上剤「V-Bondシリーズ」、ディスプレイ向け「EXEシリーズ」は前年同期と概ね同水準となり、前年同期には最終製品需要が堅調であったディスプレイ向け「SFシリーズ」は、関連する製品の生産動向を受け減少しました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、連結子会社 MEC(HONG KONG)LTD. は清算中であることから、従来「香港（香港、珠海）」としていた報告セグメントの名称を「珠海（中国）」に、また従来「中国（蘇州）」としていた報告セグメントの名称を「蘇州（中国）」に変更しております。報告セグメント名称変更のみのため、清算中であるMEC(HONG KONG)LTD. の財務諸表は「珠海（中国）」に含めております。

売上高

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	増減率
日本	5,477百万円	5,542百万円	1.2%
台湾	2,466百万円	2,821百万円	14.4%
珠海（中国）	1,702百万円	2,006百万円	17.8%
蘇州（中国）	2,692百万円	2,807百万円	4.3%
欧州	735百万円	1,052百万円	43.1%
タイ	606百万円	757百万円	24.8%

セグメント利益

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	増減率
日本	2,710百万円	2,765百万円	2.0%
台湾	329百万円	342百万円	4.0%
珠海（中国）	308百万円	262百万円	△14.9%
蘇州（中国）	437百万円	376百万円	△13.9%
欧州	11百万円	89百万円	676.8%
タイ	76百万円	128百万円	67.7%

日本では、生成AI関連など先端半導体パッケージ基板向け製品の需要は拡大基調で推移した一方で、機械売上が減少しました。日本代理店経由で販売している韓国向けにおいては、メモリー向け半導体パッケージ基板は回復基調で推移しました。その結果、売上高は前年同期比で増加しました。

台湾では、生成AI関連などの先端パッケージ基板、パソコンやスマートフォンなどの汎用半導体パッケージ基板向け需要の増加により、売上高は前年同期比で増加しました。

珠海（中国）では、スマートフォンやパソコンに関連する製品需要が好調に推移し、売上高は前年同期比で増加しました。

蘇州（中国）では、スマートフォンやパソコン、ディスプレイ向けの製品需要が堅調に推移し、売上高は前年同期比で増加しました。

欧州では、顧客により需要動向に濃淡が見られるものの、在庫調整の局面から脱したこと、資材の一時的な需要により売上高は前年同期比で増加しました。

タイでは、電子基板メーカーの東南アジアにおける設備投資が活発化する中、車載向け製品は低調であったものの、衛星通信に関連する製品が堅調に推移したことや半導体パッケージ基板用途において当社顧客における製品の需要により、売上高は前年同期比で増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度に比べて12億53百万円増加し、342億92百万円となりました。

負債は、電子記録債務の減少等により、前連結会計年度に比べて1億61百万円減少し、59億80百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度に比べて14億15百万円増加し、283億12百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は82.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、本日（2025年11月11日）公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」において、通期連結業績予想を修正いたしました。本資料に掲載されております予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,476,446	9,456,883
受取手形及び売掛金	5,826,419	6,184,378
電子記録債権	376,347	357,711
商品及び製品	756,456	776,930
仕掛品	182,416	182,488
原材料及び貯蔵品	858,543	857,321
その他	188,364	212,355
貸倒引当金	△5,936	△6,279
流動資産合計	19,659,058	18,021,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,161,445	8,271,815
減価償却累計額	△3,818,132	△4,033,762
建物及び構築物（純額）	4,343,313	4,238,052
機械装置及び運搬具	3,924,994	4,011,058
減価償却累計額	△2,771,359	△2,823,145
機械装置及び運搬具（純額）	1,153,635	1,187,913
工具、器具及び備品	1,826,123	1,904,404
減価償却累計額	△1,364,151	△1,410,270
工具、器具及び備品（純額）	461,971	494,133
土地	3,691,281	3,700,504
使用権資産	104,954	95,742
減価償却累計額	△34,612	△41,127
使用権資産（純額）	70,342	54,614
建設仮勘定	133,204	2,051,808
有形固定資産合計	9,853,747	11,727,027
無形固定資産	150,468	142,094
投資その他の資産		
投資有価証券	1,627,553	2,361,075
退職給付に係る資産	1,424,782	1,466,125
繰延税金資産	1,711	1,724
その他	321,850	573,139
投資その他の資産合計	3,375,898	4,402,065
固定資産合計	13,380,114	16,271,187
資産合計	33,039,172	34,292,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	984,031	1,055,904
電子記録債務	894,293	310,843
未払金	558,309	622,127
未払費用	198,645	152,056
未払法人税等	952,302	665,718
賞与引当金	421,520	632,091
役員賞与引当金	50,827	39,491
設備関係未払金	95,985	179,934
その他	302,461	355,753
流動負債合計	4,458,376	4,013,921
固定負債		
繰延税金負債	1,490,783	1,802,604
退職給付に係る負債	7,131	11,133
株式報酬引当金	126,951	107,241
その他	58,654	45,542
固定負債合計	1,683,521	1,966,521
負債合計	6,141,898	5,980,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	541,273	446,358
利益剰余金	24,163,977	25,729,087
自己株式	△2,031,602	△2,353,047
株主資本合計	23,267,790	24,416,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	496,822	1,000,807
為替換算調整勘定	2,799,596	2,617,188
退職給付に係る調整累計額	333,064	277,996
その他の包括利益累計額合計	3,629,483	3,895,992
純資産合計	26,897,274	28,312,533
負債純資産合計	33,039,172	34,292,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	13,682,011	14,987,788
売上原価	5,284,954	5,638,462
売上総利益	8,397,056	9,349,326
販売費及び一般管理費	4,747,850	5,101,874
営業利益	3,649,205	4,247,451
営業外収益		
受取利息	46,896	22,790
受取配当金	8,474	15,413
試作品等売却収入	5,191	5,100
投資事業組合運用益	10,351	12,950
為替差益	—	48,432
その他	13,088	17,826
営業外収益合計	84,002	122,513
営業外費用		
支払利息	809	496
為替差損	31,355	—
その他	691	7,887
営業外費用合計	32,856	8,383
経常利益	3,700,351	4,361,581
特別利益		
固定資産売却益	7,013	4,237
補助金収入	—	546,447
特別利益合計	7,013	550,684
特別損失		
固定資産売却損	291	338
固定資産除却損	11,531	150,108
特別損失合計	11,822	150,447
税金等調整前四半期純利益	3,695,542	4,761,818
法人税等	1,068,022	1,432,674
四半期純利益	2,627,519	3,329,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,627,519	3,329,144

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	2,627,519	3,329,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231,528	503,984
為替換算調整勘定	115,153	△182,407
退職給付に係る調整額	△40,177	△55,067
その他の包括利益合計	△156,552	266,508
四半期包括利益	2,470,966	3,595,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,470,966	3,595,652
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株の取得、および単元未満株式24株の買取を行っております。

(自己株式の消却および減少)

2025年8月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株の消却を行っております。また、取締役向け株式報酬制度および執行役員向け株式報酬制度において、株式報酬として自己株式を交付したことにより、自己株式数が35,903株減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が321,445千円増加し、資本剰余金が94,914千円、利益剰余金が828,017千円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)、「包括利益表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)を、第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	日本	台湾	珠海 (中国)	蘇州 (中国)	タイ	欧州	
売上高							
外部顧客への売上高	5,477,742	2,466,903	1,702,480	2,692,575	606,933	735,375	13,682,011
セグメント間の内部 売上高または振替高	3,731,401	—	4,956	12,695	—	21,863	3,770,917
計	9,209,144	2,466,903	1,707,436	2,705,270	606,933	757,239	17,452,929
セグメント利益	2,710,560	329,389	308,557	437,044	76,462	11,551	3,873,565

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,873,565
セグメント間取引消去	△224,359
四半期連結損益計算書の営業利益	3,649,205

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	日本	台湾	珠海 (中国)	蘇州 (中国)	タイ	欧州	
売上高							
外部顧客への売上高	5,542,199	2,821,614	2,006,338	2,807,568	757,717	1,052,350	14,987,788
セグメント間の内部 売上高または振替高	3,694,008	—	614	34,031	—	40,321	3,768,976
計	9,236,207	2,821,614	2,006,953	2,841,600	757,717	1,092,671	18,756,765
セグメント利益	2,765,594	342,701	262,733	376,312	128,264	89,733	3,965,338

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,965,338
セグメント間取引消去	282,113
四半期連結損益計算書の営業利益	4,247,451

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社 MEC(HONG KONG)LTD. は清算中であることから、従来「香港（香港、珠海）」としていた報告セグメントの名称を「珠海（中国）」に、また従来「中国（蘇州）」としていた報告セグメントの名称を「蘇州（中国）」に変更しております。この変更は報告セグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	599,966千円	602,656千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。